

日本神経学会  
会員各位

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、札幌で開催いたしました第59回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。幸い連日好天にも恵まれ、お蔭さまで6,302名に上る多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年、北海道大学に神経内科が開設されて31年目になります。北海道大学病院に診療科として神経内科が開設されたのが1987年、医学部講座に昇格したのが1995年、その後大学院化、学院化されて現在に至っています。初代教授である田代邦雄先生が第43回学術大会を主催されたのが2002年でした。それから16年を経て、学術大会を担当させて頂きましたことは大変に名誉なことであり、教室を代表して皆様にお礼を申し上げます。主幹校として学会事務局と運営事務局の双方からの支援のもとに、企画、立案、運営に至るまで作業を進めることができました。プログラム編成にあたっては、学術委員や教育委員会および関連の皆様にも多大な御支援を頂きました。学術大会国際化の大方針に沿って、シンポジウム、口演、ポスターなど30%程度を英語とさせて頂きました。会場は三施設に分散していることから、移動に参加者の皆様にはご負担をおかけしました。開催に際してホテルさっぽろ芸文館とニトリ文化ホールは2018年3月で閉館の予定でしたが、札幌市の配慮により、学術大会開催のために9月まで閉館を延長して頂きました。このように皆様からたくさんの御協力と御支援を頂き、学術大会を開催・運営することができました。改めて紙面を借りて感謝致します。

以上、簡単ではございますが御礼のご挨拶とさせて頂きます。皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白



平成30年5月31日

第59回日本神経学会学術大会 大会長

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学 特任教授

佐々木 秀直

【大会長校事務局】

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学

**【学会事務局】**  
日本神経学会事務局

**【運営事務局】**  
第 59 回日本神経学会学術大会運営事務局（株式会社コンベンションリンクージ）